**「（仮称）大森西二丁目複合施設」基本設計住民説明会（第５回）**

**【議事要旨】**

日　　時 ： 【１回目】令和３年12月17日（金） 19時～（20時30分終了）

【２回目】　　　　〃　　19日（日） 10時～（11時45分終了）

【３回目】　　　　〃　　19日（日） 14時～（15時15分終了）

会　　場 ： 区民活動支援施設大森　１階多目的室

参 加 者 ： 41名（内訳：①22名、②13名、③6名）

説明内容 ： １　開会あいさつ 　　　　 施設整備課長

大森西特別出張所長

２　基本構想・基本設計など 施設整備課担当者

３　基本設計 施設保全課担当者

４　各施設の紹介　　　　　 各所管課担当者

５　新・複合施設の「ひろば」と「災害対策」 施設整備課担当者

６　工事期間中の施設運営（案）、整備スケジュール 施設保全課担当者

７　質疑応答

８　閉会あいさつ 施設保全課長

７　質疑応答　（■住民　〇行政）

**【 １回目：令和３年12月17日 19：00～】**

* **新・複合施設の「工事」に関する説明会について**

既存建物と新・複合施設の線（立面図による比較）が示されたが、今後、住民への説明の際に、日影の図面等も示されるのか、また、説明会の予定はあるのか。

〇条例に基づいた説明の機会を設け、その場で詳しい話をする予定である。

* **新・複合施設における多世代の交流の創出について**

各担当者から話を伺い、「地域の交流」という発言があったが、それぞれの施設内における交流ではなく、多世代の交流は出来ないのか。また、施設を有料化してしまうと利用者が減るため、無料で使えるスペースも検討いただきたい。

〇「多世代交流」は施設整備計画のコンセプトであるため仕掛けを作っていく。また、北東棟の１階にある区民協働支援施設内には、無料で使用できるオープンスペースがあり、誰でもふらっと立ち寄れるため、そちらも活用いただきたい。

* **令和４年１月以降のこらぼ大森のミーティングルームの使用について**

現在、こらぼ大森のミーティングルームを自由に使用しているが、１月からは、自由に使えるスペースがなくなるのか。

〇どの期間も継続して活動いただける。Ⅰ期工事期間中は校舎棟１階の軽食コーナーをうまく使用してもらいたい。Ⅱ期工事期間中は、現在の大森西区民センターの３階が使用可能である。

* **各施設の活動スペースについて**

新・複合施設には、10個も施設が入るということだが、活動スペースは十分なのか。中央のひろばに関しても面積で説明されても十分なのかわからない。

〇現在のこらぼ大森は、廃校となった小学校を活用しているため、施設によっては充分過ぎる広さとなっている。新・複合施設の整備に当たっては、各部署と連携し、面積ありきではなく、活動内容に基づく広さを確保した。

* **太陽光発電について**

新・複合施設においては、太陽光発電の検討は無いのか。

〇屋上部分に太陽光発電を設置予定。設置場所が室外機等もあるため限られており、体育館や多目的室への仮設照明や扇風機等で使用可能な程度のものとなる。

* **エレベーターについて**

エレベーターは２か所あるが、各１基か。また、どのような仕様か。

〇各１基で施設西側は20人乗り、東側は13人乗り。共にバリアフリー対応想定である。

* **災害時における補完避難所について**

前回の住民説明会（４回目）の時に、工事期間中の避難所として「近くの私立高校と提携している。」と説明があった。災害の種類などによって条件は変わるが、学生がいる中で住民が避難することが可能なのか。工事期間中におけるどのタイミングでどこに避難するのか。私立高校の活用については、住民には知らされていなかったので周知方法についても今後、検討いただきたい。

〇2019年の台風19号を受けて、大田区では、多摩川沿いの２校を除いて、災害時には、89校を避難所として開放する。さらに不足した場合は、避難者に周知の上、大森西地区の管内では美原高校、大森学園などを活用する予定である。

* **こらぼ大森のグラウンドについて**

現在のグラウンドは無くなるのか。

〇新・複合施設のひろばとして位置付けが変わる。第４回の住民説明会でも説明したとおり、大森西保育園、大森西区民センター跡地への「公園・緑地」の整備に当たっては、ワークショップなどを行い、ご意見を参考にしながら検討を進める予定である。

* **災害時の給水拠点について**

災害時の飲料水の備蓄としてペットボトルを保管するとあった。災害時には、給水車が来ると思うが、この辺りで、水をもらいに行くのは都堀公園となる。もっと給水施設を整備できないのか検討いただきたい。

〇給水拠点は、水道局が計画し、区内全域をおおむね２km圏内でカバーするよう設置されている。また、新・複合施設には、水道管が破裂していなければ応急給水栓（水道管から直接水道水を得ることが出来る設備）があるため、そちらも活用する予定である。

* **その他**

「沢田東児童公園」は、整備後に「（仮称）子ども家庭総合支援センターのひろば」という位置付けになるのか。

〇基本構想の段階では、（仮称）子ども家庭総合支援センターは、現在の大森西特別出張所の跡地に、沢田東児童公園の敷地も一体として建設する予定であった。その後、地域との協議も踏まえ、沢田東児童公園は、公園ではなく、同センターのひろばとして、現在の形状は残しつつ、引き続き地域の方にもご使用いただけるようにした。

「沢田東児童公園」は、（仮称）子ども家庭総合支援センターの建設期間中は使用出来るのか。

〇極力使用出来るよう調整をしている。

（仮称）子ども家庭総合支援センターひろばの住民利用について、厚労省の「児童相談所運営指針」における設備の中に、「屋外には、十分な広さの子どもの遊び場があることが適当である等」とあるが、現在の沢田東児童公園（将来の（仮称）子ども家庭総合支援センターのひろば）が、遊び場にされてしまうと、地域住民が使えなくなってしまうのでは。

〇遊び場については、（仮称）子ども家庭総合支援センターだけで占有することはなく、これまで通り、地域の皆様もご使用いただける形で、建物も建てる予定はない。東京都との協議の結果、設計上は現在の形で問題がないことを確認している。また、同施設においては、活動の場を外だけに限定することなく室内にも設けるため、同ひろばについては、地域の方も安心して使えるような形で整備する。なお、令和４年１月27日に（仮称）子ども家庭総合支援センターに関する説明会を予定しており、改めて区設掲示板で周知を図る。

**【 ２回目：令和３年12月19日 10：00～】**

* **工事期間中について**

工事期間中のトラックなど、交通量はどのようになるのか。

〇取り壊し工事、Ⅰ期工事、Ⅱ期工事と段階を踏んで工事をすることになる。詳しくは、工事事業者決定後に説明会を開く予定である。現時点では、環七から出入りする想定である。

* **大森西地域活性化協議会の活動が出来る場所の確保について**

大森西全体に住んでいる方の生活と健康を全面的に守ることのできる拠点が欲しい。町工場も商店街も活性化することが出来る拠点が欲しく、地域住民が担えるような仕組みが必要で、その事務所を新・複合施設内に配置したい。

私たちの「大森西地域活性化住民協議会」は、「来訪者」と「そうでない方（利用者以外）」の２面で処理をする。あらゆる問題（例、高齢者の健康や不登校）を協議会に持ち込めば解決できるように、各施設などに繋げる拠点があればと考えている。

〇運営の具体的な検討は今後であるため、運営に関するご意見として頂戴する。

* **大森西保育園の園庭について**

園庭は無くなるのか。

〇資料のとおり、保育園舎の南側に確保する。

* **調理室の利用について**

子ども食堂をやっており、調理室を自由に使いたい。配食サービス事業者以外の住民が細部にわって使えるような検討をしていただきたい。

〇保健所と調整しながら運用は詰めていくが、調理室については、配食サービスなどある程度の規模の事業での利用を想定している。一方で、小規模の取組については、今回、食堂兼多目的室にキッチン機能を備え付けるため、こちらをご利用いただきたい。

* **新・複合施設における停車スペースの確保について**

こらぼ大森の正面玄関前には、路上に車が停まっており、子どもが行き来する度、危なく感じている。事業者の出入りもあると思われるが、搬出入まで考えると周囲の道路が狭い。敷地内に、駐車場や送迎等で停車できるスペースを検討いただきたい。

〇新・複合施設では歩行者用の幅２ｍの歩道を敷地の周囲に設ける。駐車場は、現在は数台であるが、新・複合施設では15台程度（管理用含む）設ける予定で安全性や利便性を配慮しながら設計を進めていく。

* **保育園のプールなどについて**

こらぼ大森は、NPOの設置から地域の方が苦労して作ってきたのでその姿勢は貫いていただきたい。過去に保育園が複合化されたが、上階を支えるための柱が、保育室の中にあったりした。プールやシャワーなどは確保できるのか。

〇プールに関しては、園庭にあると危険な面もある。今回は十分な園庭スペースが確保されているため、園庭に組み立て式のものを確保する予定。柱に関しても、施設が広くなり、ゆったりとしているため安全性に十分配慮した設計としている。

* **福祉作業所の配置について**

新・複合施設においては福祉作業所が４階に配置されており、利用者はエレベーターを使うことになるが、高所のため、利用者が動揺したり車いすの方が不便ではないか。

〇事業者と検討を重ねた上での配置計画である。本施設は、Ｂ型施設のため将来的に社会参画を目標としており、車いす利用者はいない。高層階に対する不安がある利用者が出た場合は、近くにある１階の本園を活用するなど、利用者の特性に合わせていく。

* **工事期間中の駐車・駐輪対策について**

工事期間中は駐輪場、駐車場がきちんと確保できるのか。

〇仮設期間中は、敷地の西側の一部と東側に駐輪場を設け、利便性を図りながらスペースを確保していきたい。

* **工事期間中の菊づくりやこらぼアートについて**

菊づくりやこらぼアートなど、工事期間中も活動が継続できるのか。

〇菊づくりは、今の鉢数を確保できなくても継続できるよう調整中。こらぼアートも空きスペースを活用しながら、継続できるよう調整中である。

* **日当たりについて**

日当たりに関して、東西南北、現状より悪くなることはないという理解でよいか。

〇北側については現在より建物は低くなるため、日当たりは良くなる。東西については、建物の用途上、体育室や多目的室など高さが必要な諸室が配置されることから、　　　　必ずしも現状よりも良くなるというわけではないが、法令の範囲の中で、厳しい規制は守って設計をしていく。改めて説明する機会があるため、そのタイミングで詳しく説明する。

* **大森第六小学校時代の卒業記念作品について**

大森第六小学校時代の卒業記念作品については、移されるのか処分されるのか。

〇現在、卒業記念作品等の写真を撮影してデータ管理をしている。区報で周知をしているが、建物に埋め込まれているものが大半で、既に落下・風化していることなどから基本的には撤去する。希望者には、２月以降にお持ち帰りいただくことも可能だが、必要であれば、写真化したもの配付での対応を予定している。

* **（新・複合施設における）大森西区民センター会議室４の防音設備について**

防音設備を設けるとあるが、窓は内側（中庭側）にしていただけないか。防音レベルがどの程度なのか。外に漏れるので厳しいのでは。

〇防音レベルはこれから検討をしていく。ギターやドラムを叩いても耐えられる仕様としたく、窓の採用の有無も検討をしている。一般的なスタジオレベルの防音性能を窓面で確保することは難しいが、将来的な諸室の転用も見据えて、防音仕様（窓）をどのようにするか今後、検討をしていきたい。また、窓を内側（中庭側）にしない理由について、大きな空間を取ろうとした場合に柱の位置や上下階の関係性から、現状の位置に配置することとした。

* **新・複合施設への図書館の設置について**

新・複合施設から図書館には距離があるため、図書館でなくても、貸出返却窓口があればありがたい。

〇現在、新・複合施設内に図書館機能を設ける予定はない。現在の図書館は、適正に配置する計画のもと配置されており、建て替えなどに合わせて空白地帯への移転など検討をすることはあるが、敷地確保などの課題もあり容易に移せるものではない。貴重な意見なので所管部局に共有する。

* **各地域における整備計画について**

新・複合施設に温もり（愛着）を感じられない。例えば、田園調布のせせらぎ館は、隈研吾が設計したが、大森となるとこんなものか。田園調布だといいのか。地域格差があると思う。六郷地域力センターも第一京浜沿いにあって立派でお金をかけている。東急池上駅も立派である。大森西地区は、21町会あって、人口も約６万人もいるのだから、もうちょっと頑張ってもらいたい。

〇施設に関して地域で差を設けることは毛頭も考えておらず、地域に寄り添って真剣に設計をしている。叱咤激励としてご意見を受け止め、今後も設計に取り組んでいきたい。

* **施設管理者・運営者について**

最終的な管理者・運営者が住民と一体化して運営するような仕組みとして欲しい。このことは管理運営を委託する際の入札基準にしてもらいたい。どんな団体が管理運営に入ってくるか、どのように考えているか。

〇現在、運営団体や管理手法は検討している段階のため、ご意見を踏まえながら検討をしていきたい。

**【 ３回目：令和３年12月19日 14：00～】**

* **工期について**

非常に長く、最大８年くらい騒音が発生する。騒音対策について考えを知りたい。既に始まっている出張所移転に向けた仮設工事でも騒音があった。配慮いただきたい。

〇騒音は、新築工事や解体工事も出ると考えている。周辺には、家屋や工場もあることから、特に音が出る基礎部分の解体工事は念入りにゆっくり壊すことを検討したため、工期が長くなった。工事のイメージとしては、重機で基礎をかみ砕く際に一番振動と音が出ると考えている。周囲を掘削し、ワイヤーで基礎を持ち上げてゆっくり破砕する手法も考えている。今後、工事に関する説明会において、搬入ルートや工事車両などの詳細についても説明させていただく。

* **施設の出入口における滞留者等への対応について**

こらぼ大森の正面玄関から利用者が出てくる際、自転車の方が多く滞留するほか、車が停まっており、車が出せないこともある。また、17時頃に子ども、22時頃に大人が出てくると話し声も響き、かなり気になる。出入口のことも検討していただきたい。

〇新・複合施設では、周囲に歩道状空地（２ｍ幅の歩道）が整備されるほか、その内側に駐輪場を整備するため、今までよりも人は道路に滞留しない。セキュリティも含めて検討しているが、出入口も４か所に分散するため、今の環境よりは安全に使っていただける施設となると考えている。

　　 滞留者については、施設管理者からも注意を促すほか、これまでは、予約した人しかグラウンドを使用できなかったため、道路で話してしまうこともあったと思われるが、今後は、ひろば内（施設の内側）で雑談などを行うようになると想定されるので、緩和されると考えている。

以上